



2020年7月16日

各位

会社名 株式会社 ズーム  
 代表者名 代表取締役 CEO 飯島 雅宏  
 (コード: 6694、東証 JASDAQ)  
 問合せ先 取締役 CFO 山田 達三  
 (TEL. 03-5297-1001)

## 営業外費用の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年12月期第1四半期連結累計期間において営業外費用を計上するとともに、2020年2月14日に開示いたしました2020年12月期の通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外費用の内容

当社の持分法適用会社である ZOOM UK Distribution Ltd (以下、ZUK) が、2020年5月5日にイングランド・ウエールズ高等法院へ「1986年倒産法(the Insolvency Act 1986)」に基づくアドミニストレーションの申請を行ったことに伴い、当社が所有している投資及び債権の評価額の見直しを行ったこと等により、営業外費用として持分法による投資損失240百万円を計上しております。

#### 2. 連結業績予想の修正

(1) 2020年12月期通期業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,641	301	381	299	130.19
今回修正予想(B)	9,886	573	262	366	162.92
増減額(B-A)	1,245	271	△ 119	67	
増減率(%)	14.4	90.0	△ 31.2	22.5	
(ご参考)前期連結実績 (2019年12月期)	8,608	291	318	250	110.03

## (2) 修正の理由

### ① 売上高及び営業利益について

2020年4月1日付で持分法適用会社であった ZOOM North America, LLC (以下、ZNA) を完全子会社化したことにより、同社の損益計算書を4月1日より連結することになるため、通期の売上高は前回発表より1,245百万円増加し、9,886百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、ZNA 連結に伴うのれんの償却を122百万円見込むものの、通期の営業利益は前回発表より271百万円増加し、573百万円となる見込みです。

### ② 経常利益について

「1. 営業外費用の内容」に記載のとおり、ZUK に係る持分法による投資損失を計上したこと、及び ZNA が4月1日付で子会社となったことにより ZNA に係る4月以降の持分法による投資利益を営業外収益に見込まないこと等により、通期の経常利益は前回発表より119百万円減少し、262百万円となる見込みです。

### ③ 親会社株主に帰属する当期純利益について

ZNA の子会社化に伴い従来持分を時価に評価替することにより、段階取得に係る差益が178百万円発生する見込みであることから、通期の親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表より67百万円増加し、366百万円となる見込みです。

## (3) 新型コロナウイルス感染拡大の影響

新型コロナウイルス感染拡大により、当社グループが取扱う製品のうちライブ活動で使用する楽器や関連機器については需要の減少がみられるものの、自宅で使用する楽器やテレワークに適した関連機器(いわゆる巣ごもり消費)については需要が増加しており、全体として感染拡大が当社グループの売上高に与える影響は限定的と考えております。

なお、当第1四半期連結会計期間から当第2四半期連結会計期間にかけては、中国の生産委託先の稼働率低下に伴う製品供給不足及び欧州でのロックダウンに伴う小売店の閉鎖等により、当社グループの売上高は一時的に減少いたしました。しかしながら、現時点においては世界的にロックダウン解除のフェーズに移行しており、当社グループの活動・販売状況も通常に戻りつつあります。現在の社会生活や経済活動の状況が年内続くと仮定しても、新型コロナウイルス感染拡大は、当連結会計年度の財政状態及び経営成績に大きな影響を与えるものではないと判断しております。

(注) 上記の業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上